

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかな拡大を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資、住宅投資は弱い動きとなったものの、設備投資は堅調に推移している。また、個人消費も底堅く推移している。

こうした中、生産は横ばい圏内の動きとなった。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・基調としては弱め

9月の公共工事請負金額は、国が増加したものの、県、市町村などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲17.6%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 7月	8月	9月
山形県	▲54.8	▲27.1	▲27.6	3.7	▲6.3	▲17.6

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・堅調に推移

8月の建築着工床面積（民間非居住用）は、農林水産などが増加したものの、医療・福祉、卸・小売などが減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲31.7%）。9月短観における2018年度の設備投資計画（全産業）は、前回6月調査から上方修正されたものの、2017年度の大幅増加の反動で減少する計画（前年度比▲5.6%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
山形県	14.7	25.1	3.2倍	▲29.9	40.4	▲31.7

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2018年9月山形短観） 前年度比、%

山形県	2016年度（実績）	2017年度（実績）	2018年度（計画）
全産業	24.6	47.5	▲5.6< 18.9>
製造業	28.8	70.7	▲15.4< 19.4>
非製造業	19.5	16.5	13.1< 18.1>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

8月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では前年を下回った（前年比▲2.0%）。一方、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2017年 10~12月	2018年 1~3月	4~6月	2018年 6月	7月	8月
全店	0.5	▲0.6	▲3.0	▲1.1	▲1.3	▲2.8
既存店	▲1.1	▲0.5	▲1.2	0.3	▲0.2	▲2.0

＜資料＞経済産業省

9月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った（前年比▲4.2%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 7月	8月	9月
乗用車 合計	▲11.5	▲1.0	▲2.4	1.0	6.7	▲4.2
普通車	2.2	9.7	3.8	10.7	22.8	9.0
小型車	▲13.8	▲4.7	▲9.3	▲3.1	4.0	▲6.6
軽四輪	▲18.0	▲5.3	▲0.6	▲1.9	▲2.1	▲10.7

＜資料＞東北運輸局

(4) 住宅投資・・・弱い動き

8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家が減少したため、全体では2か月続けて前年を下回った（前年比▲8.6%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
山形県	19.0	▲1.5	72.6	4.2	▲11.2	▲8.6
持家	25.7	5.1	12.4	14.4	▲0.3	▲9.5
貸家	5.4	▲10.9	3.0倍	▲7.1	▲31.6	▲8.9
分譲	46.7	7.5	2.8倍	▲1.6	▲13.7	0.0

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・ 横ばい圏内の動き

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比2.2%）。業種別には、食料品、窯業・土石など14業種が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など8業種が上昇した。7月の在庫指数（季節調整済）は、3か月続けて低下した（前月比▲2.0%）。

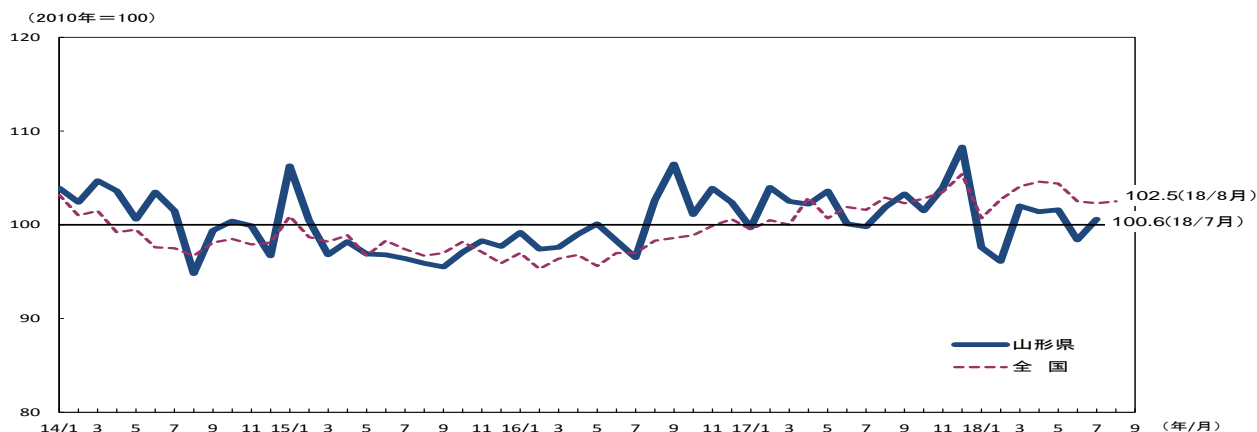
（図表7） 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
生 産	季節調整済前月比%	1.4	4.1	6.1	0.2	▲3.1	p 2.2
	原指数前年比%	▲1.5	6.7	▲1.6	▲0.5	▲2.8	p 2.0
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	▲0.5	▲7.1	▲2.0	▲0.7	p ▲2.0
	原指数前年比%	4.8	▲2.7	▲7.7	▲9.1	▲8.6	p ▲9.8

＜資料＞ 山形県企画振興部

（図表8） 鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・ 着実に改善

8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.68倍となった。業種別の新規求人数は、宿泊・飲食サービス、金融・保険・不動産・物品賃貸などは減少したものの、サービス、医療・福祉などは増加した。8月の雇用保険受給者は、前年を下回った（前年比▲5.5%）。

（図表9） 雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2017年 10～12月	2018年 1～3月	4～6月	2018年 6月	7月	8月
有効求人倍率	1.62	1.66	1.61	1.64	1.65	1.68
完全失業率	1.6	2.2	1.7	—	—	—
雇用保険受給者	<▲19.3>	<▲5.8>	<▲5.1>	<▲5.1>	<0.1>	<▲5.5>

＜資料＞厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

7月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比2.2%）。業種別には、複合サービス、運輸・郵便などは前年を下回ったものの、卸・小売、製造業などは前年を上回った。

7月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲6.5%）。業種別には、宿泊・飲食サービス、運輸・郵便などは前年を上回ったものの、建設、医療・福祉などは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
常用雇用指数	0.7	0.4	2.2	1.8	2.3	2.2
所定外労働時間	3.3	8.8	1.0	3.0	0.0	▲6.5

<資料>山形県企画振興部

7月の現金給与総額（名目賃金指数）は、製造業、情報通信などは増加したものの、卸・小売、医療・福祉などが減少したため、2か月続けて前年を下回った（前年比▲0.5%）。

7月のきまって支給する給与は、6か月振りに前年を下回った（前年比▲1.9%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 5月	6月	7月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.9	3.0	0.7	0.8	▲0.4	▲0.5
きまって支給 する給与	1.6	1.7	0.9	0.8	0.9	▲1.9

<資料> 山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

9月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（6件）、負債総額（13.0億円）とも引き続き低水準（<前年同月>倒産件数4件、負債総額2.5億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2017年 12月	2018年 3月	6月	2018年 7月	8月	9月
件数	5	6	2	4	4	6
負債総額	7.6	4.1	0.9	2.0	7.5	13.0

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回る動き

8月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比1.3%)。費目の内訳をみると、家具・家事用品は前年を下回ったものの、光熱・水道、交通・通信などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
総合	0.9	0.7	0.8	0.4	0.8	1.3
生鮮食品を除く総合	0.8	0.7	0.6	0.9	0.9	1.3

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

8月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年を上回った(前年比0.2%)。

8月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、企業向けを中心に前年を上回った(前年比0.9%)。

この間、8月の貸出金利は前月と同水準となった(前月比0.000%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2017年 9月	12月	2018年 3月	2018年 6月	7月	8月
実質預金+CD (末残前年比)	1.2	0.5	1.6	0.8	0.3	0.2
貸出金 (末残前年比)	1.7	2.2	1.9	1.2	1.1	0.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2017年 10~12月	2018年 1~3月	4~6月	2018年 6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.013	▲0.004	▲0.012	▲0.004	▲0.003	0.000

8月末水準
1.026%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004